『びほろ』みらいまちづくり会議

タウンウォッチング

平成 26 年 10 月 8 日（水）

午前９時～

『びほろ』みらいまちづくり会議

『びほろ』みらいまちづくり会議タウンウォッチング（行程表）

平成26年10月8日（水）

No.	予定時刻	施設の名称	内容	所管部局	連絡先
	8:50	集合			
	9:00	役場出発			
1	9:05～9:20	スポーツセンター・Ｂ＆Ｇプール・柏ヶ丘運動公園	管理運営状況等説明	スポーツ振興G	73-4117
2	9:50～10:30	美幌町廃棄物処理場	埋立処分場、リサイクルセンター等	環境生活G	73-4091
3	10:50～11:10	美幌みらい農業センター	センターの取り組み状況等説明	農政G	75-2324
4	↓	美幌町マナビティーセンター	バス内から	社会教育G	
5	↓	あさひ広場公園多目的運動広場	バス内から	スポーツ振興G	
6	11:25～11:45	美幌町交流促進センター「峠の湯びほろ」	施設内見学、H22木質チップボイラー	商工観光G・耕地林務G	73-2121
7	11:55～12:40	美幌町給食センター	昼食、センターの運営状況説明	学校給食G	73-2526
8	13:00～13:20	日並浄水場	施設内見学、小水力発電	水道G	75-7001
9	13:35～13:45	防災資機材等備蓄倉庫	H25年設置	総務G	
10	13:50～14:10	美幌下水終末処理場	施設内見学	建設G	73-5838
11	↓	コミュニティセンター（子育て支援・発達支援・児童センター）	バス内から	児童支援G	
12	14:20～14:40	美幌町立国民健康保険病院	地域連携室、新医療機器等	国保病院	73-4111
13	↓	リリー山スキー場	バス内から	スポーツ振興G	
14	14:50～15:20	美幌博物館	施設内見学	博物館G	72-2160
15	↓	みどりの村キャンプ場	バス内から	農政G	
16	↓	網走川河畔公園パークゴルフ場	バス内から	スポーツ振興G	
17	↓	中央商店街	バス内から	商工観光G	
18	15:30	役場着			

『びほろ』みらいまちづくり会議タウンウォッチング参加者

部　会	所　　属　　団　　体	氏　　名	備　考
総務部会	美幌町自治推進委員会	疋　田　　憲　子	
	美幌町暴力追放推進協議会	粟　崎　　邦　雄	部会長
民生部会	美幌町児童民生委員協議会	浅　倉　　順　三	
	美幌町保健医療福祉ﾈｯﾄﾜｰｸ推進委員会	菅　野　　隆　秋	会長
	社会福祉法人恵和福祉会　特別養護老人ホーム緑の苑	大　　槻　　薫	副部会長
	美幌町社会福祉協議会	小　國　　柑　奈	
	一般公募	砂　　原　　泉	
経済部会	美幌観光物産協会	信　太　　真　人	副部会長
建設部会	美幌町都市計画審議会	山　本　　和　則	
教育部会	美幌町文化連盟	牛　島　　義　蔵	部会長
総合計画審議会	美幌町社会福祉協議会　会長	森　　暉　　夫	
コンサル	(株)日本コンサルタントグループ	山　口　　和　也	
	〃	中　　村　　桂	
事務局	まちづくりグループ総合計画主幹	那　須　　清　二	
	〃　　総合計画担当主査	竹　　下　　護	
	〃　　交通安全担当主査	浅　野　　謙　司	
合計		16名	

『びほろ』みらいまちづくり会議タウンウォッチング

No.1－1

1　施設の名称	スポーツセンター
2　施設の概要	竣工年 昭和46年（本体） 昭和47年（管理棟） 建築面積：2,346㎡（フロア面積：1,365㎡）
3　施設の特徴	ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ、ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ各２面 テニス２面 ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ８面 卓球、弓道、トランポリン等
4　課題点等	・施設の老朽化（築40年以上） ・内壁の改修 ・耐震補強工事
感想・疑問など	Memo

『びほろ』みらいまちづくり会議タウンウォッチング

No.1-2

1　施設の名称	トレーニングセンター
2　施設の概要	竣工年 昭和51年 建築面積：1,210㎡
3　施設の特徴	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ（機器35機種） 研修室、調理実習室等
4　課題点等	・外壁改修 ・スポーツセンター受付窓口との一体化
感想・疑問など	Memo

『びほろ』みらいまちづくり会議タウンウォッチング

No.1-3

1　施設の名称	Ｂ＆Ｇ海洋ｾﾝﾀｰ
2　施設の概要	竣工年 平成３年 建築面積：1,030㎡
3　施設の特徴	一般用25m×６ｺｰｽ 幼児用10m×6m
4　課題点等	・上屋シート修繕 ・床面改修（滑りやすい）
感想・疑問など	Memo

『びほろ』みらいまちづくり会議タウンウォッチング

No.1－4

1　施設の名称	柏ヶ丘運動公園陸上競技場
2　施設の概要	竣工年 昭和43年（改修：平成9～12年）
3　施設の特徴	400mトラック8レーン 日本陸連第4種公認（H26.9更新） 夜間照明
4　課題点等	・芝生の維持管理 ・トラック全天候舗装化 （維持管理負担の低減、練習環境整備、大会・合宿の誘致）
感想・疑問など	Memo

『びほろ』みらいまちづくり会議タウンウォッチング

No.1-5

1　施設の名称	柏ヶ丘運動公園野球場
2　施設の概要	竣工年 昭和40年（改修：平成10～11年）
3　施設の特徴	両翼98m、センター122m 夜間照明
4　課題点等	・落雷による電子機器の被害防止策
感想・疑問など	Memo

『びほろ』みらいまちづくり会議タウンウォッチング

No.2

1　施設の名称	美幌町廃棄物処理場
2　施設の概要	一般廃棄物処理施設 ○　２期埋立処分地埋立容量　201,000m3　　水処理施設 25t/日 ○　３期埋立処分地埋立容量　97,000m3　　水処理施設 30t/日 ○　リサイクルセンター　３棟　ペットボトル・その他プラ・びん類等 平成２６年度予算 　塵芥収集・処分場維持管理事業費　230,622千円
3　施設の特徴	平成２５年度実績 ○　一般ゴミ総収集量　3,558t 　一人一日当たり収集量　468g ○　一般ゴミ総排出量（直接搬入含む）　8,086t 　一人一日当たり排出量　1,063g ○　資源ゴミ総収集量（紙類・缶類・びん類・ペットボトル等）　2,032t
4　課題点等	○　適切なゴミの排出 　一般ゴミと資源ゴミの分別（出せばゴミ！分ければ資源！）
感想・疑問など	Memo

『びほろ』みらいまちづくり会議タウンウォッチング

No.3

1　施設の名称	美幌みらい農業センター
2　施設の概要	昭和48年に開設された「道立農業機械化研修所」が閉所されたことに伴い、施設や農地を町が譲り受け、新規に農業参入を目指す者の農業経営管理研修や栽培技術を取得する施設として、平成12年7月に開設した施設です。 現在は、新規就農研修生の受入、農業経営者育成、農業担い手の配偶者対策、新規作物の栽培実証試験、市民農園事業を中心に取り組みを進めています。 ＜施設概要＞ 研修施設（研修室、宿泊室、食堂）、施設圃場15.21㌶、 機械操作演習場1.96㌶、ビニールハウス、各種農作業機械 ＜職員＞ 5名（所長、主査、担当、農業指導員、担い手専門相談員） ＜研修生等の受入実績＞ 新規就農者13名、体験実習生38名 ＜センター発信の新規作物導入実績＞ アスパラガスハウス立茎栽培、イチゴ苗増殖契約栽培、 アスパラガス伏せ込み促成栽培
3　施設の特徴	・市町村が農地を保有する研修施設は他にない。 ・町、農業委員会、JA、農業改良普及センター、美幌高校、農業担い手対策協議会、指導農業士など地域の農業関係機関・団体で構成する「運営推進協議会」により事業内容を協議し運営している。 ・事業に係る経費の一部は、JAも負担している。
4　課題点等	・新たな地域普及作物の導入の取り組み ・農業体験実習生の確保 ・宿泊施設の改修 ・農業経営継承者の掘り起こしと新規就農研修生の確保
感想・疑問など	Memo

『びほろ』みらいまちづくり会議タウンウォッチング

No.4

1　施設の名称	美幌町マナビティーセンター
2　施設の概要	竣　　工　平成13年3月 （旧オホーツク情報メディア専門学校を改修） 敷地面積　4,999.97㎡ 建築面積　1,525㎡ 建物概要　1階　手工芸室、木工芸室、陶芸室、小会議室、会議室 サロン、団体活動室、事務室 2階　大研修室、研修室4室、和室2室、青少年サロン
3　施設の特徴	町民の地域活動や趣味・教養・文化向上の学習実践活動及びレクリェーションの場として、ご利用いただく社会教育施設です。 各部屋は、サークル（26年度マナセン登録サークル52サークル）や各種団体の日常活動、研修や会議等にご利用いただいています。 施設の主催事業として、各種講座・教室を開催しています。
4　課題点等	マナビティーセンターの元施設は昭和63年建設のため26年が経過していることから、一部経年劣化のため玄関などの修繕が必要となっている。 学校施設だったことから、教室（現研修室等）が2階に配置されており、高齢者等の利用には不便がある。
感想・疑問など	Memo

『びほろ』みらいまちづくり会議タウンウォッチング

No.5

1　施設の名称	あさひ広場公園多目的運動広場
2　施設の概要	竣工年 平成元年
3　施設の特徴	ラグビー2面、ソフトボール1面、サッカー2面
4　課題点等	・地盤の悪化 ・芝生の更新
感想・疑問など	Memo

『びほろ』みらいまちづくり会議タウンウォッチング

No.6

1　施設の名称	美幌町交流促進センター「峠の湯びほろ」
2　施設の概要	・設置目的 　町民の健康促進と地域間交流を促進し、活力ある地域づくりに資することを目的とする。（条例抜粋） ・平成8年12月オープン　総事業費　約12．5億円（工事費約10．5億円） 温泉施設（全身浴・気泡浴・打たせ湯・薬湯・露天等）、身障者浴室2室、研修室、休憩室、特別休憩室、レストラン、売店、ゲームコーナー、ドリンクコーナー
3　施設の特徴	・浴室の天井を丸太材の梁を使用し、高いドーム構造にしているところが大きな特徴です。これにより、より開放感が得られ、ゆったりと入浴を楽しむことができます。また、デザインのことなる、2つの浴室が配置されており、毎日男湯と女湯が入れ替わります。 ・泉源 アルカリ性単純温泉 地上温度43度 浴用適応症：神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、うちみ等
4　課題点等	・施設が17年経過していることから、施設維持費の増加が予想される。 ・消費税が10%に上がったときに、利用料金をどうするか。
感想・疑問など	Memo

『びほろ』みらいまちづくり会議タウンウォッチング

No.6-2

1　施設の名称	木質バイオマスボイラー
2　施設の概要	木質資源利活用は、施設における重油ボイラー導入後15年以上経過し 老朽化してきているため、地域の未利用木質バイオマス資源を活用した チップボイラーに更新・導入をしました。
3　施設の特徴	木質バイオマスボイラーは、地域の皆伐・間伐材を有効に利用すること により、化石燃料を使用しないため、CO2の削減及び燃料コストの削減に 繋がっています。
4　課題点等	冬期間の、木質チップ含水率が高いため、燃料消費量が多くなる。
感想・疑問など	Memo

『びほろ』みらいまちづくり会議タウンウォッチング

No.7

1　施設の名称	美幌町学校給食センター
2　施設の概要	1．業務内容 ①学校給食提供業務　②スクールバス運行業務　③施設維持管理業務 2．職員体制 主幹（所長）　1人　　管理担当主査　1人 栄養士　2人（道職員1人、町臨時職員1人） 調理員　17人（常勤臨時職員9人、パート8人）※パートは、作業内容により配置 嘱託職員　1人（スクールバス運転手兼施設管理） スクールバスパート運転手　1人 3．運営状況 ①学校給食の提供 町内の小学校3校、中学校2校に週5日提供。 週5日のうち、原則、米飯3回、麺1回、パン1回を提供。 ②栄養基準（文部科学省で定める摂取基準の基づく） 小学校低学年　560Kcal 中学年　660Kcal 高学年　770Kcal 中学生　850Kcal ③1日の調理食数 約1，800食（年間食数；1人185～200食） ④1食当たりの給食費 小学生　237円　　中学生282円 4．スクールバス運行状況 ①運行基準 統合地区小中学校の区域で、民間営業バスの運行していない地区とする。 ただし、民間営業バス運行時間以外の下校・部活下校の場合に運行する。 【運行地区】 登校時6路線、下校時5路線 ②保有バス 大型バス2台（47人乗）、中型バス3台（29人乗）、コミューターバス1台（15人乗）
3　施設の特徴	地産地消の取組～美幌産→近隣産→道内産→国内産の順位で食材を購入。 精米、人参、大根、切りごぼう、アスパラ等旬な野菜を地元生産者等から購入。
4　課題点等	国や北海道が定める衛生管理基準の見直しで、施設のハード面の対応が追いつかない（汚染区域と非汚染区域を別室にするなど）。
感想・疑問など	Memo

『びほろ』みらいまちづくり会議タウンウォッチング

No.8

1　施設の名称	日並浄水場
2　施設の概要	・計画1日最大取水量　12,375m^3/日(水利権水量) ・計画1日最大配水量　11,250m^3/日(H25.12.26-6,890m^3/日) ・原水の種別　河川表流水(網走川水系女満別川) ・浄水方法　凝集沈殿急速ろ過方式 ・計画給水人口　26,300人(H26.3.31現在19,942人) (監視施設) ・配水池　5箇所・5,356.5m^3(日並、田中、高区、美禽、豊幌) ・加圧ポンプ所　9箇所(日並、美禽、高区第1、高区第2、田中、稲美、高野第1、高野第2、豊幌) ・流量計室　4箇所(稲美、瑞治、大正橋、野崎)
3　施設の特徴	水道施設は昭和24年に旧大蔵省から町に無償譲渡を受け、昭和25年に水道事業の認可を受け開始されています。 ・水源林はFSC国際認証を取得し町有林として管理しています。 ・小水力発電施設(12.6kw)を平成25年度に設置し、緊急時の非常用電源として活用するとともに、通常時は電力使用量の低減を図っています。 ・浄水場運転管理業務は平成26年度より民間に業務委託しています。 ・有収率(H25)は92.7%となり、全道でも上位に位置しています。
4　課題点等	・急速ろ過施設は昭和48年～昭和55年に旧水道施設基準により設置されたもので、耐震性や浄水処理過程に課題を残しています。(平成26年度に耐震基礎調査を実施中) ・導水管、送水管、配水管の内約6%が布設後40年を超えており、水道施設の耐震化と併せて更新手法や財源確保が課題であります。
感想・疑問など	Memo

『びほろ』みらいまちづくり会議タウンウォッチング

No.9

1　施設の名称	防災資機材等備蓄倉庫
2　施設の概要	災害発生時に、避難所で使用する防災資機材の備品を保管するための備蓄倉庫。 保管する備品は、次の7点です。 ①停電時の非常用電源の発電機（8kva） ②救護室・保健室用の発電機（2.8kva） ③暖房用のジェットヒーター ④暖房用の灯油ストーブ・ポリタンク ⑤夜間照明用のバルーン ⑥仮設トイレ ⑦毛布
3　施設の特徴	備蓄倉庫の設置場所は、発電機や仮設トイレなどの重量物を避難所へ迅速に運搬するため、クレーン車等の建設車両がすぐ側にある、車両センター内に建設しました。
4　課題点等	保管する防災資機材を計画的に購入し、予定通り備蓄倉庫に保管しています。 また、小中学校の避難所には、既に防災資機材の一部を保管しており、直ちに使用できる体制となっています。
感想・疑問など	Memo

『びほろ』みらいまちづくり会議タウンウォッチング

No.10

1　施設の名称	美幌下水終末処理場
2　施設の概要	処理開始年月日：昭和56年10月 計画処理人口：18,200人 基本計画流入水量：10,080㎥／日 認可能力：12,000㎥／日（4/4池） 現有能力：9,600㎥／日（3/4池） 晴天時平均流入水量：8,210㎥／日（平成25年度末実績） 処理方法：標準活性汚泥法
3　施設の特徴	当施設には、水処理施設の他に汚泥処理施設があり、水処理工程から発生する下水汚泥を消化処理して消化ガスを捕集し、当施設のボイラーの燃料として活用・再生している。また、下水道区域外のし尿・浄化槽汚泥を受入る施設を「汚水処理施設共同整備事業（MICS）」で実施し、下水道と他の汚水処理施設の共同利用施設の整備を図っている。
4　課題点等	・当施設は、供用開始から32年が経過して劣化が進んでおり、経済性および省エネルギー化や省資源化、効率化を勘案しながら施設を更新中ですが、事業費が増大し、財源の確保が厳しい状況である。 ・人口減少に伴う流入水量の減少が予想されるため、施設を有効に利用する手法を早急に考慮しなければならない。
感想・疑問など	Memo

『びほろ』みらいまちづくり会議タウンウォッチング

No.11-1

1　施設の名称	美幌町コミュニティセンター
2　施設の概要	コミュニティセンターは、住民の福祉活動や趣味・教育・文化向上の学習実践活動及び軽スポーツやレクリェーションの場として、利用される住民活動施設です。
3　施設の特徴	コミュニティセンターには、子育て支援センター、子ども発達支援センター及び児童センターが入っている複合施設です。
4　課題点等	９月１日から大集会室(大集会室)等の耐震化補強工事を実施中です。（12月30日完成予定）
感想・疑問など	Memo

『びほろ』みらいまちづくり会議タウンウォッチング

No.11-2

1　施設の名称	美幌町子育て支援センター
2　施設の概要	子どもが健やかに育ち、安心して子どもを産み育てることができる環境を作ることは、少子化が進む中、将来にとってとても大切なことです。 子育て支援を社会全体の問題として考え、行政や地域、学校など関係機関と連携を取り、子育て事業を進めるため子育てができるよう遊び場を提供しながら、お母さん同士や指導員と出会い話し合いや相談ができるよう、仲間づくりやお友達作りの手助けをしています。
3　施設の特徴	子育て支援センターはコミュニティセンター内にあり、子ども発達支援センター及び児童センターが入っている複合施設となっています。
4　課題点等	一時預かり事業も実施しているため、施設が狭隘となっている。
感想・疑問など	Memo

『びほろ』みらいまちづくり会議タウンウォッチング

No.11-3

1　施設の名称	美幌町子ども発達支援センター
2　施設の概要	運動やことば、心の発達に心配や遅れのあるお子さんに対して、お子さんの発達に合わせた遊びを中心とした療育を個別や小集団で行っています。 色々な遊びの経験を積み重ねていくことで、人と遊ぶ楽しさが分かり自信を持って行動できるようになります。お子さんの苦手な部分に働きかけ、健やかに育っていくことを目的としています。
3　施設の特徴	子ども発達支援センターはコミュニティセンター内にあり、子育て支援センター及び児童センターが入っている複合施設となっています。
4　課題点等	対象児童数が年々増加傾向である。
感想・疑問など	Memo

『びほろ』みらいまちづくり会議タウンウォッチング

No.11-4

1　施設の名称	美幌町児童センター
2　施設の概要	児童に健全な遊び場を提供することにより、心身の健康を増進し、子ども達の情操を豊かにすることを目的としています。 幼児や中学生以下の児童の放課後の生活を豊かにし、地域における異なる年齢の子ども達の交流を図ります。
3　施設の特徴	児童センターはコミュニティセンター内にあり、子育て支援センター及び子ども発達支援センターが入っている複合施設となっています。
4　課題点等	コミセン大集会室(体育館)等の耐震化補強工事を実施中のため、工事期間中は地域振興センターで実施しています。
感想・疑問など	Memo

『びほろ』みらいまちづくり会議タウンウォッチング

No.12

1　施設の名称	美幌町立国民健康保険病院
2　施設の概要	美幌町立国民健康保険病院は急性期病床（99床）として地域の中核的病院として運営されております。このため看護基準は10：1看護として平均在院日数が21日以内で病床運営を行う必要があります。現在の診療科は内科・外科・眼科・小児科・総合診療科・循環器内科・腎臓内科・リハビリテーション科・人工透析などの外来診療を常勤医師5名・内科嘱託医師1名・外科非常勤医師1名で診療を行っております。平成26年3月末の職員数は117人（内臨時職員34人）で運営しており、平成25年度の1日平均外来患者数は194人・入院患者数は61人となっております。
3　施設の特徴	地域の中核的病院として64列マルチスライスCT（コンピュータ断層撮影装置）・MRI（磁気共鳴断層撮影装置）・眼科画像電送システム・人工透析システム・薬剤システム・検査システム・カルテ管理システム・オーダリングシステムなどの最新設備や先端技術の新医療システムを導入し良質・適切な医療提供を行っております。
4　課題点等	全国の多くの自治体病院で問題・課題となっているのは地域に必要な医師確保が一番の問題です。美幌町国保病院においても産婦人科や在宅医療・人工透析医師や整形外科・泌尿器科医師の常勤医師の確保や現在の常勤医師の退職なども予定されていることから、後任医師の確保を含めた医師確保が最大の課題となっております。
感想・疑問など	Memo

『びほろ』みらいまちづくり会議タウンウォッチング

No.13

1　施設の名称	リリー山スキー場
2　施設の概要	竣工年 昭和40年（改修：平成11～14年）
3　施設の特徴	スロープ450m　最大斜度20度　平均斜度13度 ﾍﾟｱﾘﾌﾄ　延長387m　搬器67器 夜間照明
4　課題点等	・リフト設備の修繕（年次的改修）
感想・疑問など	Memo

『びほろ』みらいまちづくり会議タウンウォッチング

No.14

1　施設の名称	美幌博物館
2　施設の概要	1建設年度　昭和62年10月 2敷地面積　7,800㎡ 3建物床面積　2,641.5㎡ 4常設展示　第1展示室（川とともに） 第2展示室（農業と身近な自然） 美術展示室（美幌にゆかりのある方の絵画） 5利用時間　9：30～17：00 6休館日　毎週月曜日・国民の祝日の翌日。年末年始 7入館料　大人300円、高校生以下は無料
3　施設の特徴	常設展示を中心に、特別展、企画展の実施、各教室・講座の実施とともに、町民有志と郷土学の調査、研究の実施 また、博物館の人的資料、物的資料を提供し学校教育との連携事業を推進している。
4　課題点等	・経年劣化に伴う施設の改修 ・収蔵資料の集約・整理 ・博物館専門職員の充実
感想・疑問など	Memo

『びほろ』みらいまちづくり会議タウンウォッチング

No.15

1　施設の名称	みどりの村キャンプ場
2　施設の概要	森林総合利用促進事業により森林公園とともに整備され、平成2年5月に完成、平成14年度から森林居住環境整備事業により、バンガロー、炊事場等が新たに整備された。 バンガロー(4人～15人用)　　19棟 ジャンボ滑り台　　全長200m 管理棟、テントサイト、コインシャワー(2基)、炊事場(3ヶ所)、木製遊具、トイレ(3ヶ所)
3　施設の特徴	町民の余暇活動、健康増進、文化・教育の充実を図るため、総合的な機能を有する自然休養村として建設をされた。33haの森林公園内にキャンプ場が整備をされている。
4　課題点等	キャンプ離れからの利用者減少が見られ、また、バンガローについても屋根等の修繕が必要な時期が近づいており、修繕計画の策定が必要となってくる。
感想・疑問など	Memo

『びほろ』みらいまちづくり会議タウンウォッチング

No.16

1　施設の名称	網走川河畔公園パークゴルフ場
2　施設の概要	つつじ　（18H）　平成3年 いちい　（18H）平成4年 大正橋　（18H）平成5年 しらかば（18H）平成7年 さくら　（9H）　平成１８年
3　施設の特徴	
4　課題点等	
感想・疑問など	Memo

『びほろ』みらいまちづくり会議タウンウォッチング

No.17

1　施設の名称	各商店会（商店街）
2　施設の概要	町内では現在4つの商店会街が販売促進・消費拡大を図るため趣向を凝らし活動しております。駅前から順に「ゆうゆう商店会（会員数：23）」「美幌中央商店会（会員数：38）」「（協）びほろ生き活き商店街（会員数：35）」「（協）美幌町大通北1丁目商店街（会員数：11）」となっており、合計の会員数は100以上となっております。
3　施設の特徴	毎年夏頃には各商店会(商店街)において、販売促進のイベント(お祭り)が開催されており、賑わいを見せます。しかし一方、近年では売上不振や後継者不足等様々な要因から閉店する店舗も散見するようになり、シャッター街と呼ばれることもあります。
4　課題点等	品揃えの多さや価格差などからお客様が近隣都市に流失する現実に対して魅力ある店舗づくりを推し進めていく一方、後継者不足等の店舗の存続自体の問題解消や空き店舗の有効活用などを検討・実行し、街に賑わいが生み出されるような取組みが必要となっています。
感想・疑問など	Memo